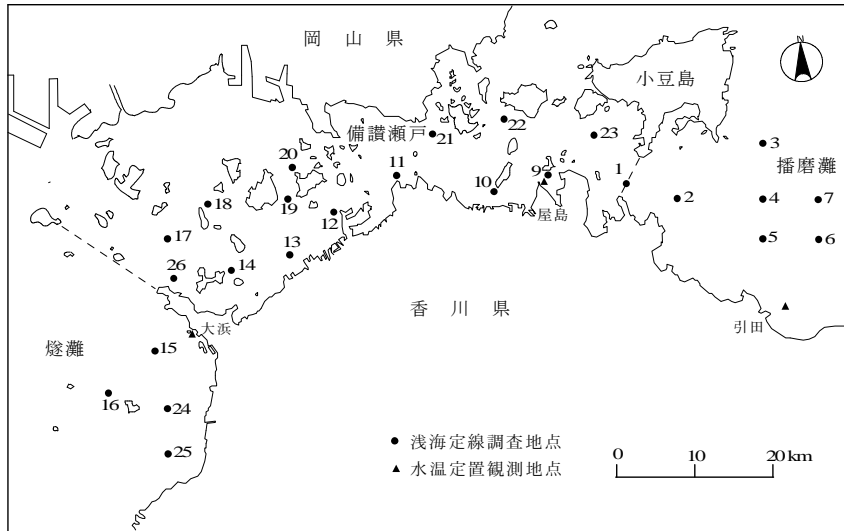


香川県漁海況情報 平成 24 年 9 月 (H24-6 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 24 年 9 月 3 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 4 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

※播磨灘では海域の一部で、燧灘では海域の広範囲で溶存酸素が低かった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	27.7	27.0	25.3	31.1	31.1	31.2	6.7	4.20	2.79
	平年値	26.9	26.4	25.0	31.7	31.7	31.9	8.0	4.42	3.15
	平年偏差	0.7	0.7	0.3	-0.6	-0.6	-0.7	-1.3	-0.22	-0.36
	標準偏差(σ)	0.9	0.8	1.2	0.7	0.6	0.5	3.1	0.50	0.90
	状 況	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	27.8	27.6	27.5	31.0	31.0	31.0	3.9	4.05	3.77
	平年値	26.9	26.6	26.4	31.8	31.9	31.9	4.3	4.16	3.95
	平年偏差	0.8	1.0	1.1	-0.9	-0.9	-0.9	-0.4	-0.11	-0.18
	標準偏差(σ)	1.0	0.9	1.1	0.9	0.8	0.8	1.8	0.43	0.41
	状 況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	28.0	27.1	24.8	31.4	31.6	31.8	9.5	4.32	1.13
	平年値	27.4	26.3	25.1	31.9	32.2	32.3	11.1	4.54	2.79
	平年偏差	0.5	0.9	-0.3	-0.5	-0.6	-0.5	-1.6	-0.22	-1.66
	標準偏差(σ)	1.3	1.0	1.2	1.0	0.6	0.6	3.1	0.55	0.92
	状 況	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	かなり低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

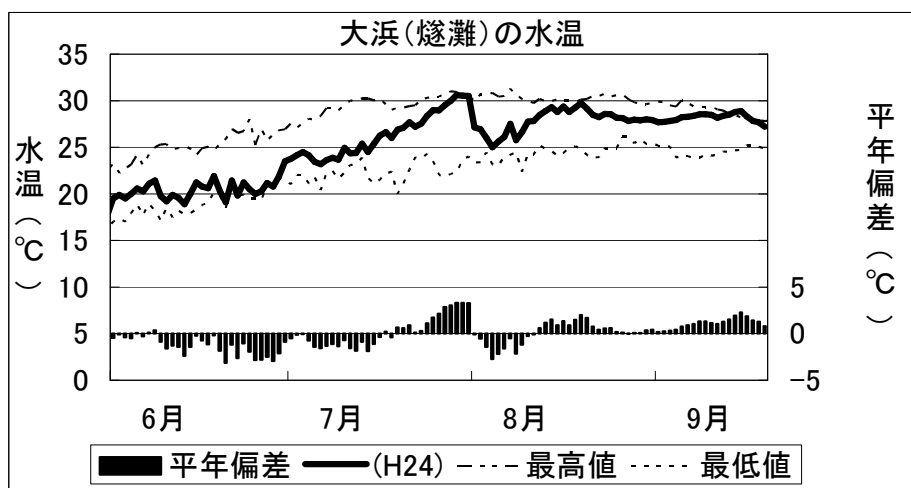
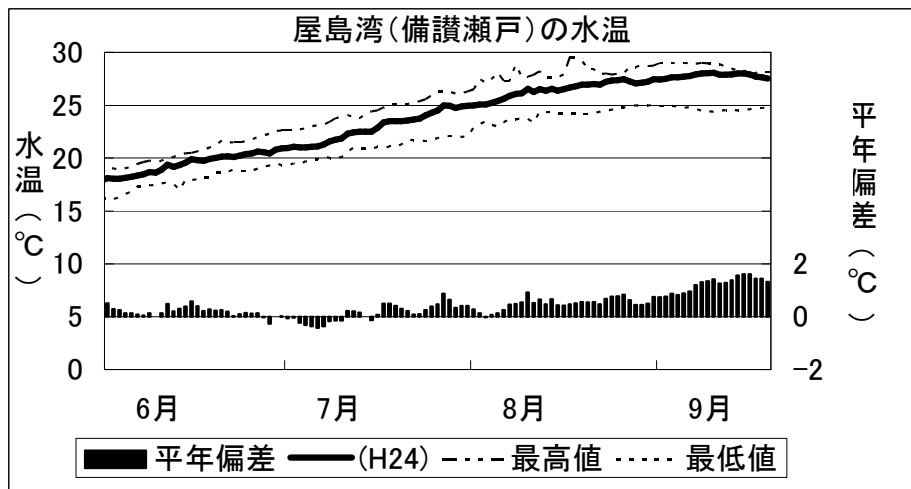
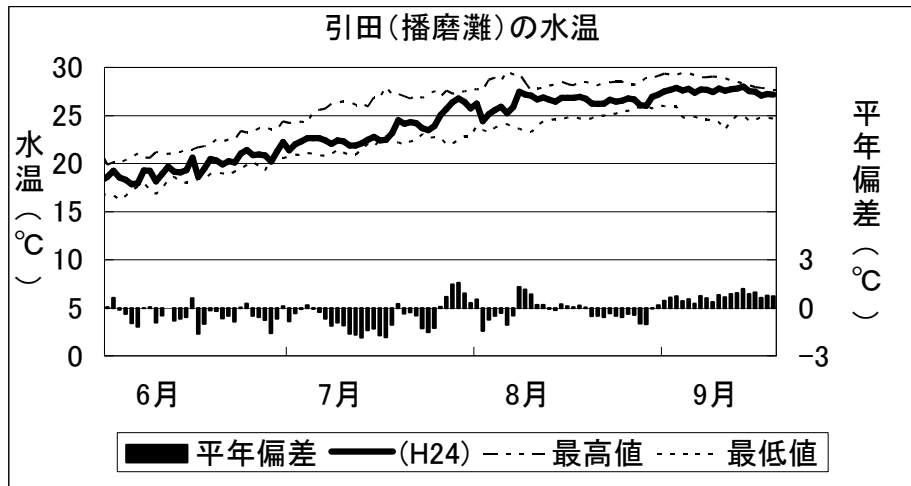
播磨灘 (引田) : 6月は平年並みからやや低め, 7月は平年並みからかなり低め, 8月は平年並みからやや低め, 9月は平年並みからやや高めで推移している。(6月下旬に1日, 7月中旬に2日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 6月は概ね平年並みからやや高め, 7, 8月は平年並みからやや高め, 9月はやや高めからかなり高めで推移している。(9月中旬に1日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 6月はかなり低めから平年並み, 7月は平年並みからかなり高め, 8月はやや低めから平年並み, 9月は平年並みから甚だ高めで推移している。(6月下旬に1日, 過去最低値を更新。7月下旬に1日, 9月中旬に3日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



4) 赤潮 (8月20日～9月19日)

播磨灘：着色域は明確でない*が、9月11日から13日に内海湾で *Chattonella ovata* 及び *Chattonella* 区分不能が高密度に出現した。

備讃瀬戸：発生無し

燧灘：発生無し

* *Chattonella* については、明確な着色域が確認されない場合でも、100 cells/mL 以上で有害種のブルームによる赤潮として扱った。

5) 卵稚仔

調査日：平成24年9月3日（備讃瀬戸，燧灘），4日（播磨灘）

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

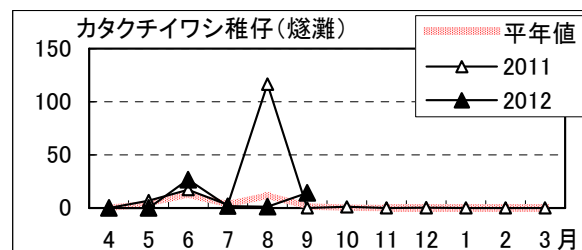
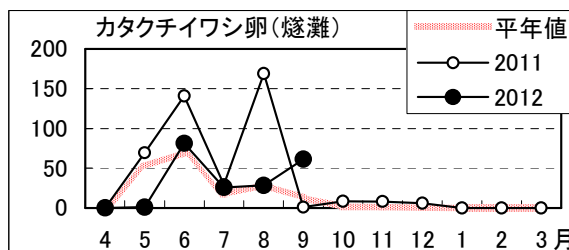
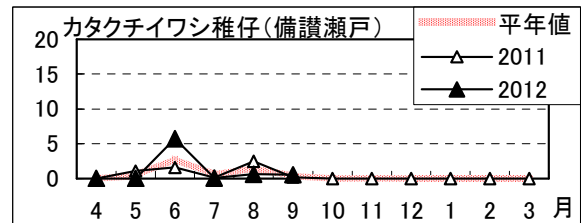
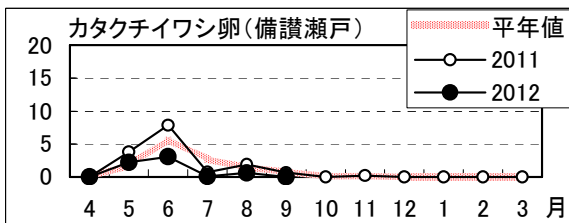
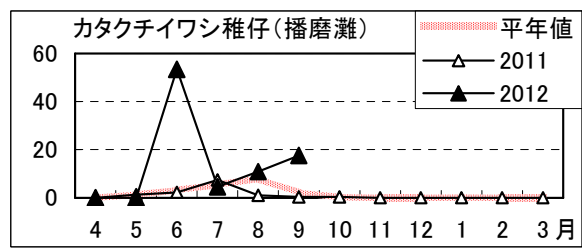
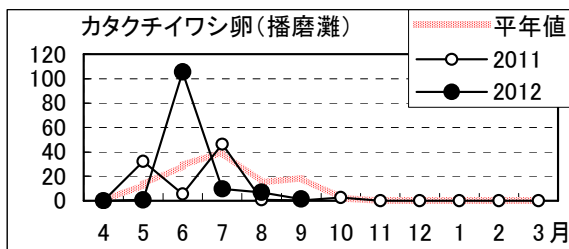
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成23（2011）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成23（2011）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	1.4	17.6	0.0	0.0	1.4	9.8
	平年値	18.5	2.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	7.4	836.7	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.5	0.0	0.0	1.5	1.1
	平年値	0.8	0.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	154.9	-	-		
燧灘	平均値	61.1	14.3	0.0	0.0	0.9	2.0
	平年値	12.8	1.6	0.0	0.0		
	対平年(%)	477.5	888.0	-	-		
総平均	平均値	14.6	8.3	0.0	0.0	1.3	3.6
	平年値	8.3	1.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	176.1	751.1	-	-		

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 8月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、ガザミ、小エビ類、マアナゴ、メイタガレイ、ウシノシタ類、アカニシ、シロギス、ネズッコ類、クルマエビ、コウイカ、ベイカ（ジンドウイカ）、マダコ、コイチ、イボダイなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、メバル、カサゴ、ウミタナゴ、スズキ、ウマヅラハギ、キジハタなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、ウルメイワシ、マイワシ、コウイカ、アオリイカ、カワハギ、ウマヅラハギ、クルマエビ、タチウオ、マダイ、ツバス、クロダイ、アイゴ、ボラ、コノシロ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではウルメイワシ、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ、マルアジ、マアジ、タチウオ、サゴシ、ツバス、イボダイ、ナゴヤフグ、シログチなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、ウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類、マアナゴ、セトダイ、シロギス、フグ類、マダコ、クロダイ、ガザミ、イイダコ、クルマエビ、アカニシ、コイチ、アカエイ、ハモ、コノシロなどが漁獲されている。マダコは例年に比べ少ない。</p> <p>建網ではスズキ、クロダイ、マダイ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、クロダイ、スズキなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では小エビ類、ハモ、シラサエビ、メイタガレイ、ネズッコ類、ガザミ、ベイカ（ジンドウイカ）、テンジクダイ、ツメタガイなどが漁獲されている。小エビ類は1隻1日あたり100～150kg獲れているが、昨年に比べると少ない。</p> <p>柵網ではカサゴ、メバル、キジハタなどが漁獲されている。</p>

2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。

